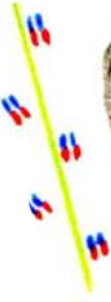




イノシシ

ハイヒールのヒール部分のような「副蹄」が地面近くに低くついているので、跡が残る。また脚が短いため、深雪ではお腹がすれてトレンチ状になる。



リス



蝶のような形。木の根元から始まり木の根元で終わる。



イタチ

モミジの葉のような形。跳ぶように歩くので、決まった歩行パターンはない。



イヌ



アライグマ

指が長いため、人間の子どもやサルの足跡に似ている。歩行パターンは、前足と後ろ足が対になる。



ネコ



ツキノワグマ



五本指と爪の跡がはっきり残る。この大きさから、他の動物と見間違えることはまずない。

でも他の動物の足跡は、舗装路でもきっと見つかります。

この冬、探してみたいかがでしょうか。

※足跡 サイズは実物の0.5倍

青色は右前足、水色は右後ろ足

※歩行パターン

青色は前足 赤色は後足



参考
「哺乳類のフィールドサイ
ン」
熊谷さとし 文一総合出
版
「アライグマ・ウオツチシタ」
安間繁樹 晶文社